

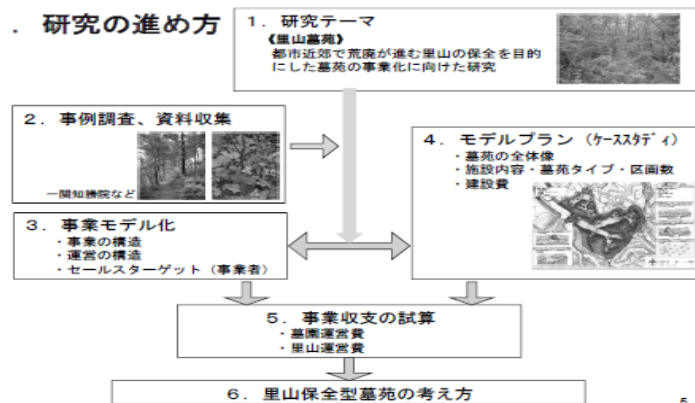
1. (2) ⑤ 都市の緑環境に関する調査研究

平成26年度、造園新領域開発共同研究会では、次の調査研究を行った。

造園新領域開発にかかる研究・開発を行うため、景観創造技術研究部会、マンションのみどり研究部会、緑循環研究部会単位での研究活動を実施した。

1. 景観創造技術研究部会

- 里山墓苑の創出に向けた研究を進め、その普及のためのパンフレットの作成に向けて準備を進めた。



2. マンションのみどり研究部会

- みどりの改善について潜在的なニーズが高まる中、管理組合や住民のニーズに応えるツール、みどりの改善事業の啓発、推進を図るツールとして、ガイドブック「みどりの改善・リニューアルガイドブック」及びそのパンフレットの作成を進めた。
- 住宅管理組合からみどりの改善事業の取組みに関する問い合わせに対し、対象団地の訪問・打合せを行った。
- 特定非営利活動法人日本住宅管理組合協議会（日住協）と連携し、日住協の広報誌「アメニティ」への連載記事・特集記事の企画・掲載を行った。

3. 緑循環研究部会

- 千葉大学園芸学部高橋准教授の協力の元を実施したチップ・堆肥の炭素固定効果実験で得られたデータの集計・整理・まとめ・分析を行った。
- これまでの研究成果を再整理すると共に、研究成果に関連する資料の収集・整理を行い、緑循環に関する冊子(タイトル未定)の編集・出版に向けた検討を行った。

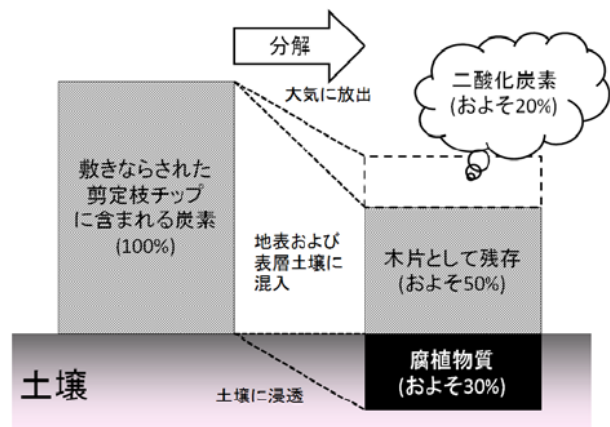


図2 チップ材分解に伴う炭素の動態